



成果指標				
成果指標	実交換個数/年度内検定満期個数×100 カッコ内は、メーター1個当り交換単価(円)			
指標設定の考え方	検定満期内に確実に交換を行い、正確な指針数値を表示する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	100(2300)	100(2300)	100(2300)	0
実 績	100(2406)	100(3014)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	5	A
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	水道メーターの検針を行い料金を徴収するにあたって、計量法に基き施行しなければならない必要不可欠な事業であり、今後も引続き継続する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	水道メーターの検針を行い料金を徴収するにあたって、計量法に基き施行しなければならない必要不可欠な事業であり、今後も引続き継続する必要がある。実施においては、水道メーターが個人の敷地内に設置されているために、作業内容や作業目的等を事前通知するなどして使用者に理解と協力を得る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題